**みんなで知ろう！考えよう！行動しよう！Let's 男女共同参画**

vol.11 6月23日（日曜日）～29日（土曜日）は男女共同参画週間です

問い合わせ まちづくり推進課男女共同参画推進室 電話23-2103

　国では、「男女共同参画社会基本法」施行日の平成11年6月23日に合わせて、この1週間を「男女共同参画週間」とし、毎年テーマを決めてキャッチフレーズを募集しています。令和6年度は、「だれもがどれも選べる社会に」となりました。

　このキャッチフレーズの下、男女共同参画を推進するため、全国各地でさまざまな取り組みが行われます。本市では、期間中に市役所東庁舎への懸垂幕の設置や図書館(来楽里ホール)に男女共同参画コーナーの設置をし、関連書籍の貸し出しや閲覧などを行います。

　「男だから」「女だから」といった性別役割意識にとらわれず、ライフスタイルを選択し、全ての人が希望に応じて、学校や職場などさまざまな場面で活躍できる社会「だれもがどれも選べる社会に」ついて考えてみませんか。

写真：昨年度設置した懸垂幕

**おおさきワンダーミュージアム　人と大自然の青空博物館**

vol.49 世界農業遺産ブランド認証に「もち米の加工品」が加わりました

問い合わせ 農政企画課世界農業遺産未来戦略室 電話23-2281

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、の大地「大崎耕土」世界農業遺産ブランド認証により、農産物や加工品のブランド化を図っており、現在、「米」の認証に係る登録申請を6月28日（金曜日）まで受け付けています。

今年度は認証品目として新たに「加工品（もち米）」が加わりました。

野菜や大豆の加工品、日本酒など「大崎耕土」で大事に育て、生産されたブランド認証品は、認証品ロゴマークが目印です。道の駅や直売所などで探してみませんか。

【新たな認証品目】

* 「加工品（もち米）」の認証要件

世界農業遺産への理解を深める講座を受講し、地域内産のもち米を使用した加工品（餅、餅菓子、おこわ、赤飯など）で地域内で製造されたもの。

【認証要件の拡充】

* 「加工品（米・野菜）】

　認証要件として申請者・製造場所が大崎地域外も対象となりました。

※各認証品目の申請は、ウェブサイトで確認してください。

写真：ロゴマーク

**市長コラム　天地人**

**台東区姉妹都市提携　四十周年を迎えて**

　この度、東京都台東区上野で台東区との姉妹都市提携四十周年記念式典および交流会が、大崎市からの市民訪問団も参加して盛大に開催されました。

　本市（旧古川市）と台東区は東北新幹線の開通を機に相互交流が始まり、互いの自然や風土・歴史・伝統を体感しながらさまざまな分野での交流を重ねて、四十周年の節目を迎えました。

　この間、古川まつりや全国こけし祭りの江戸下町職人展においては、伝統工芸職人が世界に誇る逸品や受け継がれるの技に触れ、スポーツ少年団などの市民・区民交流では、人と人との信頼と友情を育んでまいりました。

　また、東日本大震災や豪雨災害に対しても、復旧・復興に最大限のご支援もいただきました。

　さらには、友好の象徴として台東区の名誉区民であり「東洋のロダン」と称された朝倉文夫氏とご息女の響子氏の制作によるブロンズ像が、これまで3点寄贈され、古川駅前広場と、市役所庁舎前、庁舎４階ギャラリー通路に展示されております。

　四十年の交流の軌跡を振り返ると、長年にわたる変わらぬ友情と、姉妹都市としての深まりを感じております。

　台東区は、井沢八郎の歌「あゝ上野駅」が物語るように、東北地方から首都圏への玄関口であり、日本を代表する教育・文化施設を擁しております。上野・浅草を代表するように、外国人にも人気のある江戸文化、観光名所地でもあります。

　日本を代表する持続可能な田園都市を目指す本市と、国際文化・観光都市を目指す台東区が、一層交流・連携を深め、次なる十年に向けてともに歩んでいくことを念じております。